

准教授 駒井 貞治

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
<p>◎教育方法の実践例</p> <p>前期 デザイン実技 I (多面体)</p> <p>前期 デザイン演習 I (SD)</p> <p>後期 デザイン演習 II (SD)</p> <p>後期 デザイン実技 II (SD)</p> <p>前期 デザイン実技 III (SD)</p> <p>前期 デザイン実技 IV (SD)</p> <p>後期 卒業制作 (SD)</p> <p>後期 デザインと文化</p> <p>前期 SDコース展</p> <p>後期 デザインレビュー (SD)</p> <p>後期 国際交流プログラム</p>		<p>自然界における多面体や文様など多種の実例紹介により学生の理解度を高め、デザインの基本プロセスを習得させる。</p> <p>建築を学ぶ上では雑誌等から図面を読み取る能力、またその空間を模型で再現できる事は必須であり、その技術を身につけさせる。</p> <p>学外のコンペに積極的に応募しプレゼンテーションに必要なアイデアの展開し方やまとめ方を学ばせる。</p> <p>美濃市のあかりアートに出品し素材に注目したモノづくりの基礎を学ぶ。後半は畳 1 枚分のスペースをカスタマイズし、自分のための私的空間を実際に作り上げることで、モノづくりの行程を学ばせる。</p> <p>自分で学内での施主さがしから始め、ヒアリングからのコンセプト作り、それを空間化していくプロセス、また施主に対するプレゼンテーションを学ばせる。</p> <p>前半はSDコース 3 年生と合同で、学内の施設をリノベーションする設計提案を行なわせる。後半は卒業制作へとつながる現代の社会に対する視点や着眼の仕方、自分のつくる物へのストーリー展開の仕方を学ばせる。</p> <p>前期に引き続き、現代の社会に対する視点や着眼の仕方、自分のつくる物へのストーリー展開の仕方を学ばせる。またその成果物を卒業制作展で発表させる。</p> <p>さまざまなデザインの現場や、デザインと深い関わりがある周辺領域で活躍されている講師を招いて話を聞かせる。現実のデザイン状況に触れることで、現代社会におけるデザインの広がりや、現場においてどんな人たちが、デザインのどのような事柄について何を考え仕事にあたるのかなど、実際の現場を具体的に知る機会を与える。</p> <p>前期半年間の製作物を展示させる事で、前期の学びの成果を実感させ、後期以降の方針を自ら立てる事を則す。</p> <p>1 年間の製作物を展示させる事で、1 年間学びの成果を実感させ、次年度以降の方針を自ら立てる事を則す。</p> <p>姉妹校のイギリスブライトン大学との学術交流プログラム 東海地区の魅力を伝える為のメディアとしてのゲストハウスをリサーチなどを繰り返した後、学内に建築し、姉妹校の教員に体験してもらい時間してもらおうというワークショップを行い、学生にプロセスを習得させる。</p>

北名古屋市 楽器作りワークショッププロジェクト		学生有志に小学生の為の楽器作りのワークショップを企画させ、音楽学部の学生による演奏指導によりコンサートを開催する。一連のプロセスを体験する事により、デザインのもつ可能性を学生に実感させる。
名古屋市の楽器店の楽器 Re-designプロジェクト		学生有志に使われなくなった楽器のRedesignを体験させ、楽器店内での展覧会を企画させる。一連のプロセスを体験する事により、デザインのもつ可能性を学生に実感させる。
清須市立図書館 日本一ビールに詳しくなる為の本コーナー本棚製作		図書館内の本棚のデザイン案を学生に作成させ、コンペ形式で実施案を選び、実際にデザインさせ、原寸大モックアップを製作、提案させることで一連のデザインプロセスを学ばせる。
SDコース建築見学(岐阜)		岐阜のメディアコスモスなどの最新の建築物の見学及び、旧市街地でのリノベーション事例を体験する事で、空間作りのプロセスや成果を学ぶ。
東京芸術大学卒展見学(東京)		他大学の卒業制作展を見学し、同時代を生きる学生視点での問題意識を共有させ、次年度の自らの制作に繋げさせる。
◎作成した教科書・教材		上記各授業において、学生の理解を深める為のスライドショーなどの映像資料の作成。
◎当該教員の教育上の能力に関する大学の評価		上記各授業において、学生の理解を深める為の実践が効果的であり、授業評価アンケート等でも学生の理解が深まった事がうかがえる。
◎その他 デザイン学部「落合紀文展」		永く名古屋芸術大学でグラフィック分野で教鞭をとられた、落合教授の追悼作品展の企画立案、展覧会を開催し、展示を見せる事で学生にデザインプロセスや作品制作のノウハウを学ばせる。
建築学会での学生論文発表の指導		建築学会デザイン発表会において、前年度の卒業制作作品を発表させる為の指導。
職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
講演会	2016. 11. 12 高山市世界文化センター	「住まいにおける癒し」 美術、音楽領域とともに高山市で行う「癒し」をテーマにした連続講演プログラムでの住宅分野での講演。
姉妹校ブライトン大学(英国)との学術交流	2016. 6. 1~8 於：ブライトン大学	例年のブライトン大学での卒業制作作品への名古屋芸大賞の選定及び表彰、姉妹校提携20周年を記念した、建築及びデザインの関連領域の教員との学術交流において、大学での建築関連授業での取り組みの紹介及び、個人の設計事務所での活動の紹介。 帰国後姉妹校提携20周年記念展示、名古屋芸術大学での卒業制作展への招待時、学術交流プログラムとして学生有志とともにゲストハウスを制作。

著書、学術論文等の名称	単著、 共著の 別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
◎学術論文 「森、長者町(まち)へ還る」 問屋街に浮遊するゲストハ ウスを作る		2016. 8. 24 ～26	建築学会デザイン発表(九 州)及び、論文発表会司会	敷地は名古屋の中心部、伏見長者町。かつて、日本3大繊維問屋街の一つであった街も、今は斜陽で、シャッター街となり、都心部の交通の利便性を生かした有効活用の方策が待たれている。かたや、山間部の林業地域では、国の施策の迷走により国産材にも関わらず、安価での取引になってしまい、間伐材の活用を含め、林業が成り立たなくなってしまう。この二つの地域をうまく繋ぐことにより、お互いの特徴を生かした、都心部での魅力的なゲストハウスを計画した。
◎その他 京都市KM邸(自邸) 京都市西陣ビルリノベーション計画 京都市KR邸改装工事 名古屋市昭和区ギャラリー 改装計画 京都市HZ邸改装計画 京都市IT邸新築計画 京都市店舗ビル内装計画 草津市SG寺新築計画 京都市YZ邸新築計画	掲載 掲載	2016年9月号 2017年2月号 2016. 4～ 2016. 4竣工 2016. 4～ 2016. 1～ 2016. 4～ 2016. 9～ 2016. 10～ 2016. 12～	新建築住宅特集 ～新建築社 Casa BRUTUS ～マガジンハウス	京都市周辺部、狭小変形地での事務所付き住宅の設計及び現場監理 京都市中心部の老朽化した事務所ビルの、店舗及び賃貸住宅へのリノベーション計画 京都市中心部の老朽化した機織り工場兼町家の、住居及び賃貸住宅へのリノベーション計画の設計及び現場監理 名古屋市市街地での住宅のギャラリーへのリノベーション計画の設計 京都市市街地の住宅の、住居及び英会話教室へのリノベーション計画の設計及び現場監理 京都市周辺部の街に開かれた文庫をもつ住宅の新築計画の設計 京都市中心部の店舗ビル一階の店舗の内装計画の設計 草津市市街地での寺院新築計画の設計 京都市中心部の建築条件付き土地購入者の為の建売り業者を施工者とした計画の設計